

地域クラブに関する検討事項

1 今回の検討事項

(1) 学校と地域クラブの連携の在り方について

事務局案

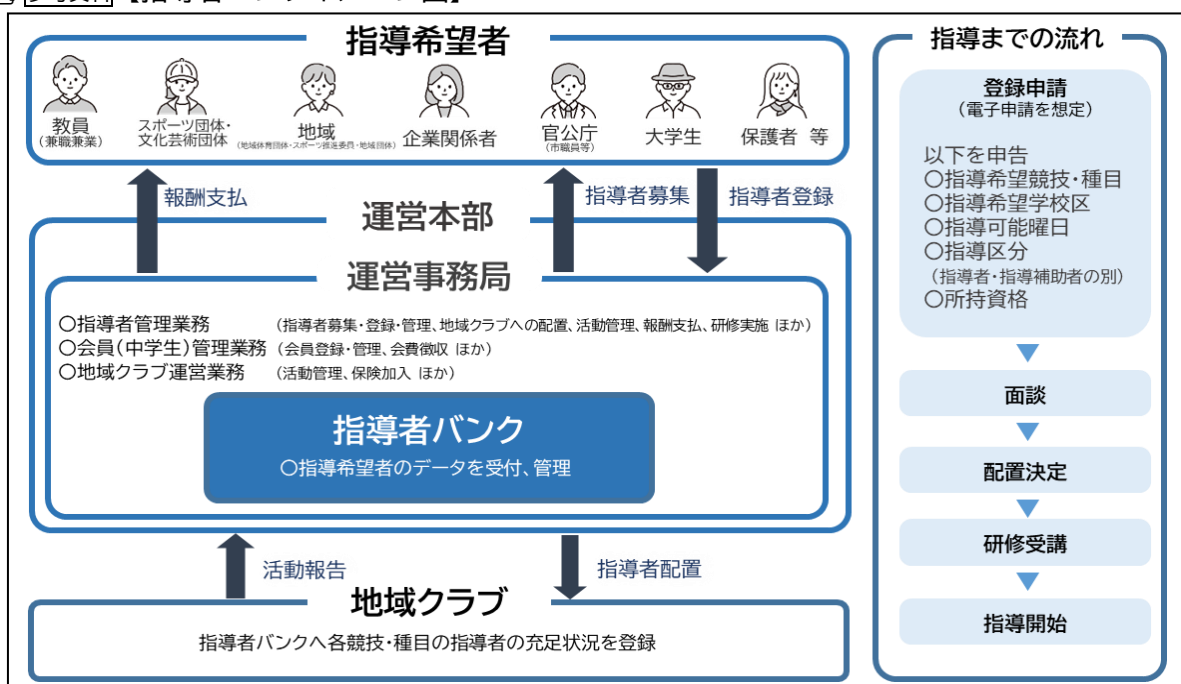
- ・学校部活動はこれまで、異年齢との交流の中で好ましい人間関係を築き、豊かな人間性を形成する体験を通して、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感を育むなど、学校における生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた。こうした教育的意義を学校・地域・家庭と連携を図りながら地域クラブ活動においても継承・発展させるため、学校との定期的な情報交換の場を設けたい。
- ・連携内容として、学校は地域クラブに対し、学校行事予定、施設利用(予約)状況等の情報共有を行うとともに、学校行事の紹介に併せて地域クラブ活動を紹介する場を設ける等の運営協力を行い、地域クラブは学校に対し、地域クラブの活動方針、スケジュール、活動状況(活動成績等含む)等の情報共有を図ることなどが想定される。

(2) 指導者バンクの運用イメージについて

事務局案

- ・運営本部に指導者バンクを設置し、運営事務局が人材の募集、確保、配置等について一括して管理・運用を行い、円滑な人材配置に繋げたい。
- ・事務の効率化を図るため、運営事務局が指導者に対する報酬の支払いや源泉徴収事務等を担うこととしたい。
- ・運営事務局が行う指導者募集については、スポーツ団体・文化芸術団体、地域体育団体・スポーツ推進委員・地域団体等による推薦等の協力も得ながら行うものとする。

参考資料 【指導者バンクイメージ図】



(3)文化部の移行の方向性について

事務局案

- ・文化部の活動日数は、運動部に比べ休日の実施が少ない傾向があることや、各部の活動内容も競技性があるものからレクリエーション的なものまで幅があることなど、地域移行後の生徒の活動ニーズは未知数であるため、生徒・保護者に対し、現在の部活動への参加状況や地域移行することを想定した場合の参加意向等を問うアンケート調査を行うこととしたい。
- ・学校備品を主として使用する科学部やパソコン部等の部活動は、教員の立ち合いのもと活動が維持されてきたが、地域クラブ活動は学校管理外の活動であり、学校関係者以外の管理・監督では、備品の使用が難しい場合も想定されることから、備品使用についての整理を行いたい。
- ・文化部の移行の方向性については、前述のアンケート結果や備品使用についての整理結果等を考慮し、検討を進めたい。

参考資料【各文化部の活動日数】

種目	1週間当たりの活動日数				平・休日活動状況		部数合計
	5日	4日	3日	2日	平日のみ活動	休日も活動	
吹奏楽	7	1				8	8
美術(美術工芸含む)		6	1		6	1	7
パソコン		2	1		3		3
科学		2		1	3		3
音楽(合唱含む)	2	2			2	2	4
家庭			1		1		1
囲碁・将棋		1			1		1
文芸		1			1		1
書道			1		1		1
その他(総合文化等)		5	3		7	1	8
合計	9	20	7	1	25	12	37
割合	24%	54%	19%	3%	68%	32%	100%

※令和6年6月に1部廃部となったため、部数合計は第1回協議会参考資料で提示した部活動数より1少ない。

参考資料【学校備品を使用する文化部数】

備品使用有	備品使用無	合計
30	7	37

参考資料 【各部が使用する学校備品】

種目	使用備品
吹奏楽	楽器(一部)、オーディオ、メトロノーム、譜面台、電子黒板、スピーカー、ハーモニーディレクター、アンプ、パソコン、タブレット 等
美術(美術工芸含む)	額、パーテーション、画材、水入れ、コピー機、プロジェクター 等
パソコン	パソコン、プロジェクター、スクリーン 等
科学	ビーカー、ガスバーナー、スタンド 等
音楽	楽器、メトロノーム、電子黒板、パソコン、CDプレーヤー、DVDプレーヤー、プロジェクター 等
家庭	ミシン、アイロン 等
その他(総合文化等)	アイロン、電子黒板、ミシン、楽器 等

(4)地域クラブ活動の指導を希望する教員の兼職兼業の取扱いについて

—別紙—

2 今後の検討事項(予定)

時期		検討事項(案)
第4回	令和7年3月下旬	① 指導者の研修 ② 指導者資格取得に関する支援 ③ 文化部の移行の方向性 ④ ガイドライン(中間案) ⑤ 全体事業費等 ⑥ その他
第5回	令和7年5月頃	① ガイドライン(中間案) ② ガイドライン掲載項目の積み残し部分 ③ 令和8年8月までのスケジュール ④ その他